



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

地域全体で子どもを育てる

ネットワークづくりを!

～社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業～

市町村の社会教育主事等が中心となり、地域の各団体等とともに、多面的な視点で地域課題を解決するための県の委託事業に、今年度は佐井村実行委員会が取り組みました。

実行委員会では、地域全体で子どもを育てるネットワーク構築に向け、各種事業を実施しました。主な活動を紹介します。

①実行委員会

- 子ども会や公民館関係者、小学校長等13名の委員で構成し、事業の企画・実践に向けた話し合いを実施。



②子育て世代と地域をつなぐ交流会

- 7月と11月の佐井小学校の参観日に合わせて、家庭科室を会場に「参観日カフェ」を設定し、保護者同士の交流、主任児童委員や元保育士との懇談・子育てについての相談を実施。



③親子で触れ合うお楽しみ会

- クリスマスの時期に合わせて、会場の広いアルサスで実施し、絵本の読み聞かせ、エコ・クラフト工作、綿菓子づくりなど、親子が楽しく触れ合う場を設定。



地域と学校のコラボレーション研修(オンライン版)

～12月8日(火)むつ来さまい館～

講義・演習:「地域の力を学校に、学校の力を地域に
～コミュニティ・スクールの可能性～」

講師:一般社団法人みたかSCサポートネット
代表理事 四柳 千夏子 氏



【講師から】

- コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の主な役割
 - 校長が作成する学校運営の基本方針の承認
 - 学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができる。
 - 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。
- まずは、「目指すべき子どもの姿」を学校、地域が共有
 - 学校と地域が互いに「当事者」として同じ方向を向いて協働する。
 - 学校……ビジョンを示す、情報開示、チャレンジ!
 - 地域……当事者意識、辛口の友人、よき応援団

まちづくりは人づくり、人づくりは未来づくり、未来づくりは教育から。みんなが教育の当事者です。まずはできることから!

【参加者の声】

- 学校は地域によって成り立っていると感じます。お互い手を取り合い、それぞれの声を尊重し、よい学校、地域をつくりたいと思います。(教職員)
- コミュニティ・スクールの可能性について認識できました。下北でもこのような活動を活発に行うため、私もお手伝いできればと思っています。(地域住民)

ユメココ教室でキャリア教育と地域の活性化を!

昨年7月～12月にかけて、「ユメココ教室」(仕事体験出前授業)が行われました。今年度はコロナ禍ではありましたが、延べ33の企業・事業所の協力のもと、5校で約250人の児童が学びました。

(青森県教育支援プラットフォーム
下北地区実行委員会 主管事業)

奥内小学校 3～6年



調理師

大平小学校 5年



いちご農家

大畑小学校 6年



警察官

第一田名部小学校 4年



IT企業

東通小学校 6年



消防士

管内放課後子ども教室訪問

むつ市放課後子ども教室合同チャレンジ教室

～さわってみよう!ドローンってなんだろう!??～



昨年10月31日(土)、むつ市内3つの放課後子ども教室の子どもたちが、むつ市中央公民館に集まり、ドローンの操作をとおして交流を図りました。

小学校で学ぶ「プログラミング教育」を社会教育に取り入れた先駆的な取組で、ドローンが浮かび上がったときの子どもたちの歓喜の表情が印象的でした。

大間町放課後子ども教室作品展発表

～大間町町民文化祭～



昨年10月31日(土)～11月1日(日)、大間町立公民館において、「みんなで楽しもう豊かな文化」のテーマのもと、第45回町民文化祭が開催されました。大間町放課後子ども教室の子どもたちの折り紙工作やちぎり絵の作品が、他の団体と一緒に展示されていました。いずれも力作揃いで、訪れる人の目を楽しませていました。

